

No	質問	回答
1	雨水出水浸水想定区域図とは何ですか	水防法第14条の2に基づき設定した想定最大規模降雨が発生した際、公共下水道や水路等の排水能力を上回り、雨水を排除できなくなった場合に想定される浸水区域や浸水深を示した区域です。
2	想定最大規模降雨とは何ですか	地域で想定される最大規模の降雨のことです。 下関市の雨水出水浸水想定区域では国の設定マニュアルに基づき1時間雨量143mmとしています。
3	1時間143mmとはどのような規模の雨ですか	近年の本市の1時間最大雨量である令和6年7月11日の85.5mmと比較すると、約1.7倍の雨量となります。
4	なぜ雨水出水浸水想定区域図が必要なのですか	近年、公共下水道や水路等の能力を上回る大雨が全国的に増加し、浸水被害が発生しております。そのため、令和3年の水防法改正により、浸水対策を行う全ての団体が雨水出水浸水想定区域を指定することとなりました。 この図は、既存の排水施設で雨水を排除できないことで生じる浸水区域や浸水深、を公表することで、浸水リスクをご確認いただき、速やかな避難行動、被害の軽減等を図ることを目的としています。 なお、浸水想定区域図に避難場所や避難方法など避難行動を促す情報を加えた「内水ハザードマップ」は令和8年度中に更新を予定しています
5	雨水出水浸水想定区域の指定対象区域は	下関市の下水道事業計画区域内(図赤枠)で浸水が想定されている区域(色塗りがある区域)です。 なお、浸水想定は、下水道事業計画区域に隣接し、かつ同じ流域から流れ込む計画区域外の区域についても標記しておりますが、こちらは雨水出水浸水想定区域の指定対象外となります。
6	浸水想定はどのように行ったのですか。	下水道事業計画区域の既存の水路等の情報や地盤高、排水先の河川や海域の情報を踏まえてコンピューターによるシミュレーションにより行っています。このため、詳細な情報・条件の違いや計算上の限界により、実際の浸水状況と異なる場合があります。
7	着色がないところでは浸水発生しないのでしょうか	6のとおりシミュレーションと実際の状況が異なるケースがあります。 また、5、6のとおり下水道事業計画区域を基準に浸水想定を行っているため、下水道事業計画区域に隣接する部分を除き、区域外は対象外です。
8	洪水や高潮の浸水は考慮していますか	考慮していません。洪水や高潮の浸水想定区域は、山口県が公表している浸水想定区域図や下関市が公表しているハザードマップをご確認ください。